

# インマヌエル中目黒キリスト教会 2013年12月15日聖日礼拝

---

アドベントの光

## クリスマスに向かう③ 「待ち望む者への福音」

ルカの福音書 2章 8 – 20節

竿代照夫 牧師



**聖書朗読**

**新約聖書**

**ルカの福音書 2章 8 – 20節**

聖書本文は新改訳聖書第三版  
(©新日本聖書刊行会) を使用しています。

第二版の聖書はp100~/ 第三版の聖書はp109~

- 8 さて、この土地に、羊飼いたちが、野宿で夜番をしながら羊の群れを見守っていた。
- 9 すると、主の使いが彼らのところに来て、主の栄光が回りを照らしたので、彼らはひどく恐れた。
- 10 御使いは彼らに言った。「恐れることはありません。今、私はこの民全体のためのすばらしい喜びを知らせに来たのです。

- 11 きょうダビデの町で、あなたがたのために、救い主がお生まれになりました。この方こそ主キリストです。
- 12 あなたがたは、布にくるまって飼葉おけに寝ておられるみどりごを見つけます。これが、あなたがたのためのしるしです。」
- 13 すると、たちまち、その御使いといっしょに、多くの天の軍勢が現れて、神を賛美して言った。

- 14 「いと高き所に、栄光が、神にあるように。地の上に、平和が、御心にかなう人々にあるように。」
- 15 御使いたちが彼らを離れて天に帰ったとき、羊飼いたちは互いに話し合った。「さあ、ベツレヘムに行って、主が私たちに知らせてくださったこの出来事を見て来よう。」
- 16 そして急いで行って、マリヤとヨセフと、飼葉おけに寝ておられるみどりごとを捜し当てた。

- 17 それを見たとき、羊飼いたちは、この幼子について告げられたことを知らせた。
- 18 それを聞いた人たちはみな、羊飼いの話したことに驚いた。
- 19 しかしマリヤは、これらのことをすべて心に納めて、思いを巡らしていた。
- 20 羊飼いたちは、見聞きしたことが、全部御使いの話のとおりだったので、神をあがめ、賛美しながら帰って行った。

# 説教

## クリスマスに向かう③ 「待ち望む者への福音」

ルカの福音書 2章 8 – 20節

竿代照夫 牧師



## 主テキスト

「御使いは彼らに言った。

『恐れることはありません。今、私はこの民全体のためのすばらしい喜びを知らせに来たのです。今日ダビデの町で、あなた方のために、救い主がお生まれになりました。この方こそ主キリストです。』」

(ルカ 2 : 10 - 11)



## A. 待ち望んでいた羊飼

何故羊飼いに？：待ち望んでいたから  
ベツレヘムの羊飼

- ・ダビデの出身地

- ・メシヤ予言：「ベツレヘム・エフラテよ。

あなたはユダの氏族の中で最も小さいものだが、あなたのうちから、私のために、イスラエルの支配者になる者が出る。その出ることは、永遠の昔からの定めである。」(ミカ5:2)

「キリストはダビデの子孫から、またダビデがいたベツレヘムの村から出る、と聖書が言っている」(ヨハネ7:42)

3. 生贄の羊の見張り:ミグダル・エデル  
(見張りの塔)は生贄用の羊の溜り場
4. ダビデ王の「後輩」としての誇り

## B. グッドニュース

1. 恐れではなく喜び

2. 確かな知らせ

- いつかではなく、「今日」
- どこかではなく、「ベツレヘム」
- 誰かではなく、「救い主キリスト」
- 誰かのためではなく、  
「あなたがた」のために

3. 福音は確かめられた: 即刻の訪問と確認

4. 福音は広がっていった: 羊飼いたちは  
物語を伝えた

おわりに

クリスマスは、「待ち望むものにとって」福音  
「聖なる主イエスよ、来たりたまえ。  
心をあわせ、祈り望む。